



2017年11月号



概況

最近の県内経済は、緩やかに回復している。

個人消費	個人消費は、緩やかに回復している。
	<p>・9月の百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比1.6%増と4カ月連続のプラス。百貨店が同2.0%減、スーパーが同2.5%増となった。</p> <p>・9月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア(全店ベース)が前年同月比2.0%増となった。その他の小売業態(全店ベース、増加率)は、家電大型専門店が同3.4%減、ドラッグストアが同6.7%増、ホームセンターが同4.1%減となった。</p> <p>・9月の自動車販売台数は登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比4.1%増の5,421台と12カ月連続のプラスとなった。登録車が同3.6%増と13カ月連続のプラス、届出車は同4.8%増と6カ月連続のプラスとなった。</p>
住宅投資	住宅投資は、高水準が継続している。
	<p>・9月の新設住宅着工戸数は前年同月比4.5%増となった。持家が同3.5%増、貸家が同11.6%増、分譲住宅が同22.7%減となった。なお過去10年では、1~9月の累計が2番目に高い水準となっている。</p>
公共投資	公共投資は、高い水準にある。
	<p>・9月の公共工事請負額は、全体で前年同月比12.8%減の206億5,100万円となり、3カ月ぶりのマイナスとなった。県が同12.3%増となったものの、国が同42.1%減、市町村が同16.9%減となり全体を押し下げた。なお4~9月累計では過去10年で、4番目に高い請負額となっている。</p>
一次産業	〔農業〕
	<p>・農林水産省東北農政局の調査によると、2017年産水稻の作柄(10月15日現在)は、作況指数が青森地帯、津軽地帯が「102」、南部・下北地帯は「97」、県全体では「101」と見込まれている。</p> <p>・2017年県産リンゴ販売は、9月の県外出荷量が前年同月比4.3%減、消費地市場価格が同6.8%低下となり、県外市場販売額は同10.7%減となった。</p>
一次産業	〔漁業〕
	<p>・9月の八戸港水揚げは数量が前年同月比0.5%減、金額が同1.0%減となった。</p>
生産活動	生産活動は、緩やかに回復している。
	<p>・8月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比3.7%上昇の113.3と再び上昇し、高めの水準が継続している。電子部品・デバイス、業務用機械などが上昇した。</p> <p>・原指数では、業務用機械、電子部品・デバイスが大幅に上昇し、前年同月比5.6%上昇の108.3と再び前年同月を上回った。</p>
設備投資	設備投資は、足元低下した。
	<p>・9月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比30.8%減の3万7,274㎡と、再び前年同月を下回った。</p>
雇用動向	雇用動向は、改善している。
	<p>・9月の有効求人倍率は1.24倍と、前月比0.02ポイント低下したものの、1963年の集計開始以来3番目に高い数値である。</p>

一次産業

米

2017年産米、作況指数は「101」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の2017年産水稻の県平均作柄（10月15日現在）は、10aあたりの予想収量が596kg、作況指数は「101」と見込まれており、予想収量、作況指数ともに東北平均を上回っている。平年と比べると、穂数が「平年並み」、1穂当たりもみ数が「多い」、全もみ数が「多い」、登熟が「やや不良」と見込まれている。

作柄表示地帯別にみると、登熟は南部・下北地帯が「不良」、青森地帯、津軽地帯がともに「やや不良」と見込まれている。10aあたりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯は583kgの「102」、津軽地帯が625kgの「102」、南部・下北地帯が534kgの「97」の作柄が見込まれている。

● 2017年産水稻の作柄概況（10月15日現在）

作柄表示地帯	10aあたり (kg)		作況指数	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数の 多少	登熟の良否
	予想収量	平年収量					
青森県平均	596	573	101	平年並み	多い	多い	やや不良
青森地帯	583	556	102	やや少ない	多い	やや多い	やや不良
津軽地帯	625	594	102	平年並み	やや多い	多い	やや不良
南部・下北地帯	534	530	97	やや少ない	多い	やや多い	不良
東北平均	564	546	99	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良

資料出所：東北農政局

りんご

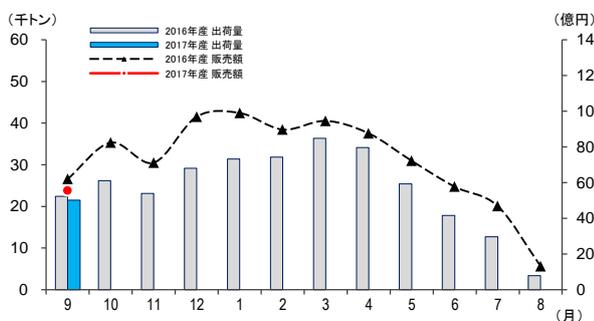
2017年産、県外市場販売額、前年比10.7%減

2017年県産りんご販売、9月の県外出荷量は前年同月比4.3%減の2万1,473トンとなった。これは平年の9月出荷量を0.4%下回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比6.3%低下、平年比較で14.8%上昇の178円となった。一方、消費地市場価格は全種平均で、前年同月比6.8%低下、平年比較で1.1%低下の259円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比10.7%減、平年比較では0.1%減の55億3,900万円となった。

早生種の「つがる」を主体に入荷があったが小玉傾向であり、入荷量は前年に比べて少なかった。産地価格は平年に比べると高値だったものの前年を下回った。消費地市場価格は、競合する長野県産や山形県産の入荷が多く、価格は高値だった前年を下回り、ほぼ平年並みとなった。

（注）平年とは、月毎の過去5年間の中庸3カ年平均値である。

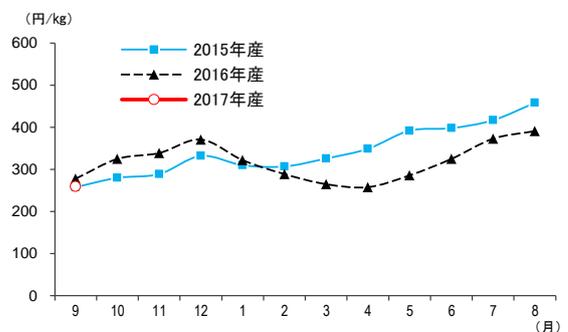
● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所：県りんご果樹課

（注）出荷量：生食用（県外市場、輸出、小口他）
販売額：小口、加工向けを除く販売額

● 消費地市場価格の推移(全種平均)



資料出所：県りんご果樹課

一次産業

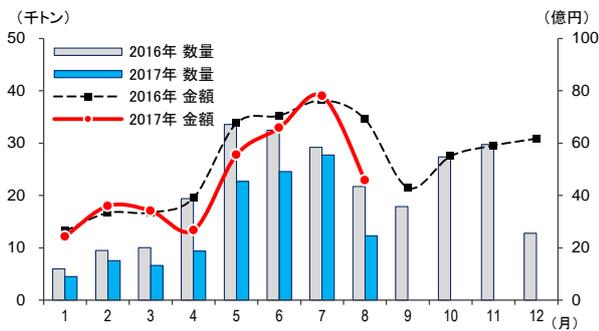
海面漁業

数量、金額とも大幅減少

8月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比43.5%減の1万2,259トン、漁獲金額が同33.7%減の45億7,896万円となった。前年同月に比べ、ホタテガイ（新貝/成貝/半生貝）、近海生スルメイカ等の漁獲数量が減少したことが影響した。

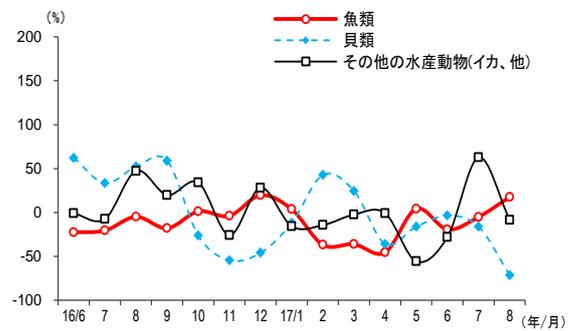
魚種別にみると、「魚類」は、タラ、マコガレイなどの水揚げが減少したものの、マグロ、サバ、タイ、ヒラメ、サワラなどが増加した。数量が前年同月比24.2%増の3,457トン、金額は、同17.6%増の10億8,214万円となった。「貝類」は、ホタテガイ（新貝/成貝/半生貝）が大幅に減少し、数量が同70.0%減の3,886トン、金額は同71.4%減の9億6,532万円となった。「その他の水産動物」は、近海生スルメイカ、近海船凍スルメイカが大幅に減少し、数量が同22.4%減の4,581トン、金額は同8.4%減の23億7,391万円となった。

● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所: 青森県農林水産部

● 魚種別漁獲金額(前年同月比増加率)



資料出所: 青森県農林水産部

八戸港水揚げ

数量、金額ともに前年をやや下回る

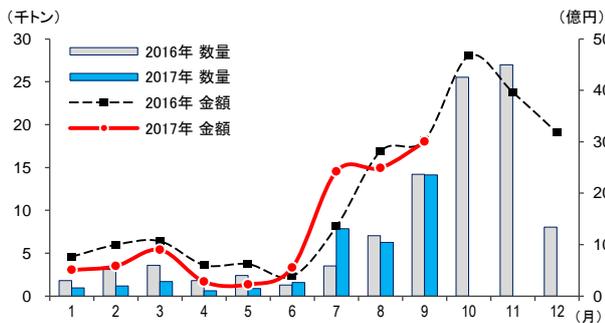
9月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比0.5%減の1万4,135トン、金額が同1.0%減の29億9,931万円となり、数量、金額ともに前年をやや下回った。

イカ釣り漁は、数量が前年同月比51.5%増の1,494トン、金額は同43.3%増の9億5,927万円となった。船凍スルメイカが、日本海で操業していた船の帰港が増加したほか、近海生スルメイカも漁に恵まれ、数量、金額ともに前年実績を上回った。イカの魚価は前年比で10kg当たり369円(0.7%)低下の6,421円となった。

大中型まき網漁は、スルメイカやマイワシが不漁で、数量が前年同月比3.4%減の1万444トン、金額は同32.7%減の8億4,253万円となった。

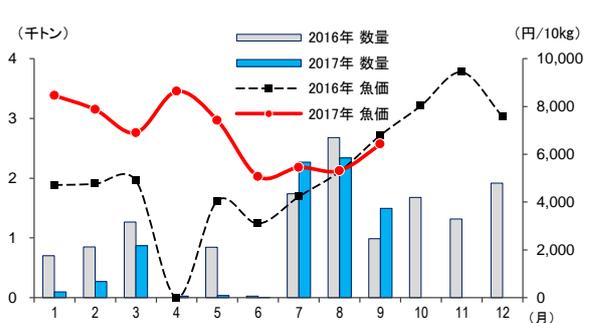
機船底引き網漁は、八戸前沖のスルメイカ漁が魚群に恵まれ、数量が前年同月比5.4%増の1,728トン、金額は同25.9%増の10億2,383万円となった。

● 八戸港水揚げ高



資料出所: 八戸市水産事務所

● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所: 八戸市水産事務所 (注)2016年4月は水揚げ実績なし

二次産業

鉱工業生産

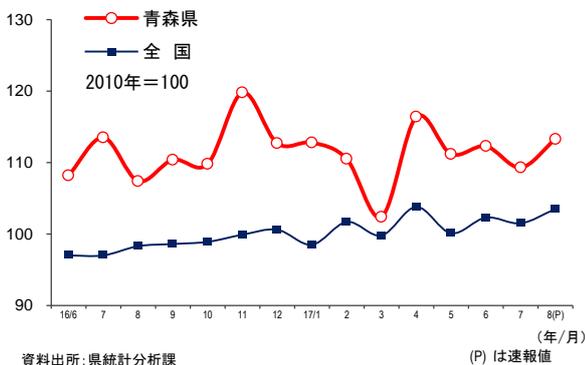
再び上昇、高水準が継続

8月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、2010年=100)は前月比3.7%上昇の113.3となり、再び上昇した。

主要6業種をみると、電子部品・デバイスが前月比33.5%、業務用機械が同5.8%、食料品が同2.2%鉄鋼が同1.3%、それぞれ上昇した。一方、電気機械は同19.2%、パルプ・紙は同0.4%それぞれ低下した。

原指数で前年同月と比較すると、業務用機械、電子部品・デバイスが大幅に上昇したほか、パルプ・紙も上昇し、前年同月比5.6%上昇の108.3と再び前年同月を上回った。

● 鉱工業生産指数



資料出所: 県統計分析課

(P)は速報値

● 業種別生産指数 (2017年8月)

業種 ()内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原指数	
	2010年 =100	前月比 (%)	2010年 =100	前年同 月比 (%)
鉱工業 (10,000.0)	113.3	3.7	108.3	5.6
食料品 (2,410.0)	105.6	2.2	102.4	△ 0.5
鉄鋼 (1,200.9)	86.7	1.3	87.7	△ 8.3
電子部品・デバイス (1,048.2)	181.6	33.5	176.1	12.0
業務用機械 (1,005.1)	119.5	5.8	105.8	24.0
パルプ・紙 (722.3)	92.9	△ 0.4	100.4	2.6
電気機械 (429.2)	82.5	△ 19.2	94.8	△ 9.0

資料出所: 県統計分析課

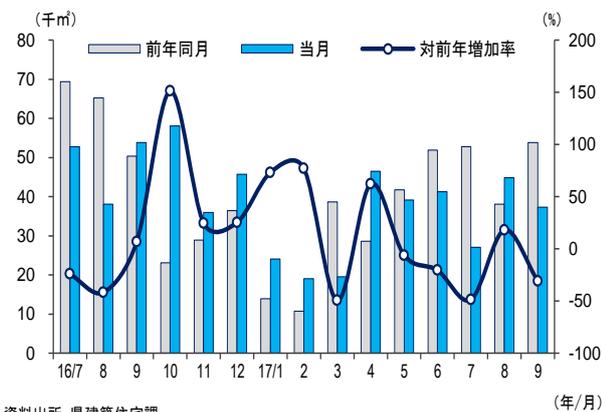
設備投資

建築物着工床面積 (民間非居住用)、再びマイナス

9月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比30.8%減の3万7,274㎡と、再び前年同月を下回った。

用途別着工床面積をみると、医療、福祉用が前年同月比98.6%減の39㎡、教育、学習支援業用が同62.1%減の5,451㎡、他に分類されない建築物他が同60.4%減の4,598㎡などとなり全体を押し下げた。一方、その他のサービス業用は同149.2%増の2,569㎡、卸・小売業用は同87.7%増の5,649㎡、運輸・通信業用は同61.6%増の488㎡とそれぞれ増加した。

● 建築物着工床面積(民間非居住用)



資料出所: 県建築住宅課

● 用途別着工床面積(民間非居住用)

用途別	2017年9月 (㎡)	2016年9月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	10,540	12,744	△ 17.3
製造業・鉱業・建設業用	7,940	8,035	△ 1.2
卸・小売業用	5,649	3,010	87.7
運輸・通信業用	488	302	61.6
教育、学習支援業用	5,451	14,378	△ 62.1
医療、福祉用	39	2,723	△ 98.6
その他のサービス業用	2,569	1,031	149.2
他に分類されない建築物他	4,598	11,605	△ 60.4
合計	37,274	53,828	△ 30.8

資料出所: 県建築住宅課

二次産業

公共工事

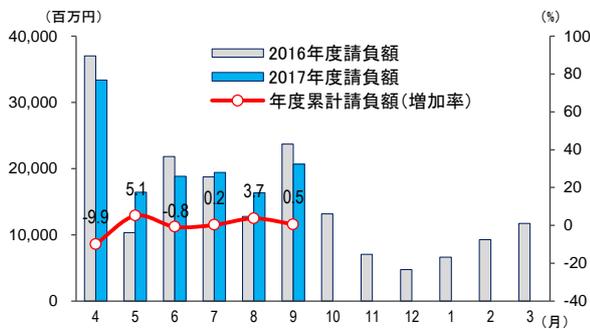
国、市町村で大幅減少、3カ月ぶりのマイナス

9月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比12.8%減の206億5,100万円となり、3カ月ぶりのマイナスとなった。

発注主体別の請負額は、国(含む独立行政法人等)が国土交通省、防衛省などで大幅に減少し、同42.1%減の27億7,100万円となった。県は県土整備部で大幅に増加し同12.3%増の122億6,400万円となった。市町村は、八戸市、平川市などで増加したものの、弘前市、黒石市、五所川原市、むつ市などで減少し、同16.9%減の49億5,700万円となった。当月は、県は増加したものの、国、市町村が大幅に減少し全体を押し下げた。

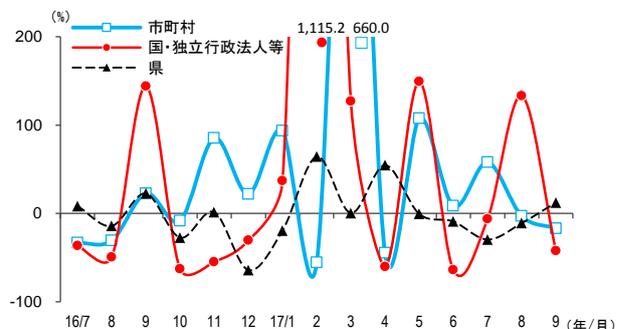
なお4~9月累計では、同0.5%増の1,250億7,000万円となり、過去10年で4番目に高い水準を維持している。

● 公共工事請負額



資料出所:東日本建設業保証(株)

● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月増加率)



資料出所:東日本建設業保証(株)

住宅着工

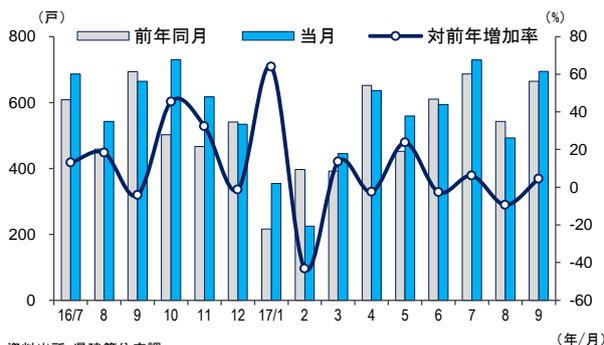
再びプラス、高水準継続

9月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比4.5%増の694戸となり、再びプラスとなった。利用関係別では、持家が同3.5%増、貸家が同11.6%増、分譲住宅が同22.7%減となった。

地域別にみると、全体では、青森市、五所川原市、十和田市、三沢市、つがる市、平川市で増加した。持家は、弘前市、郡部などで減少したものの、青森市、五所川原市、三沢市、むつ市、平川市などで増加した。貸家は、八戸市、黒石市、郡部などで減少したものの、大幅に増加した青森市をはじめ、弘前市、つがる市で増加した。分譲住宅は、弘前市、八戸市、十和田市などで増加した。

なお、1~9月累計は4,728戸となり、過去10年で2番目に高い水準(平均は4,169戸)となっている。

● 新設住宅着工戸数



資料出所:県建築住宅課

● 利用関係別戸数

	2017年 9月	2016年 9月	前年 同月比
持家	389	376	3.5
貸家	269	241	11.6
給与住宅	2	3	△ 33.3
分譲住宅	34	44	△ 22.7
総戸数	694	664	4.5

資料出所:県建築住宅課

三次産業

百貨店・スーパー販売

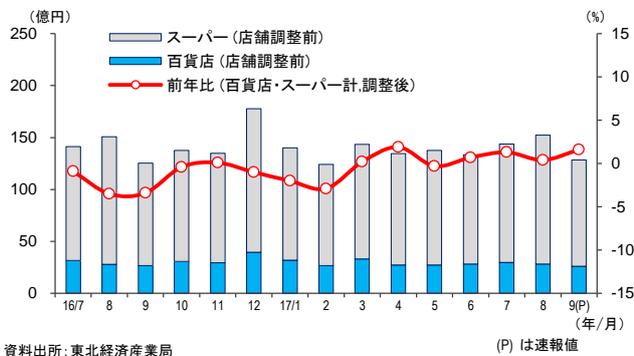
百貨店・スーパーの売上、4カ月連続のプラス

9月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比1.6%増と4カ月連続のプラスとなった。業態別では百貨店が同2.0%減、スーパーが同2.5%増となった。

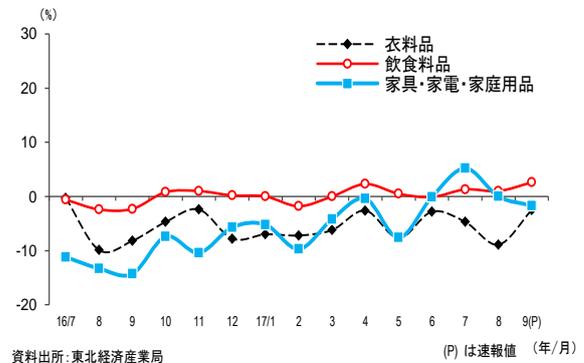
品目別では、その他の商品が同5.6%増、飲食料品が同1.6%増と前年実績を上回った。一方、衣料品は同2.5%減、家具・家電・家庭用品が同1.7%減となった。

その他の商品は医薬品や化粧品などが好調だった。飲食料品は物産展の寄与などから惣菜等が堅調だった。一方、衣料品は、気温の低い日が続き秋物商品に動きがみられ、紳士服が前年実績を上回ったものの、婦人服が伸び悩み前年実績を下回った。家具・家電・家庭用品では、家具が前年実績を上回ったものの、家電は気温の低下とともにエアコンが鈍い動きとなり、前年実績を下回った。

● 百貨店・スーパー販売動向



● 品目別売上高(店舗調整済、増加率)



各種小売業態販売額

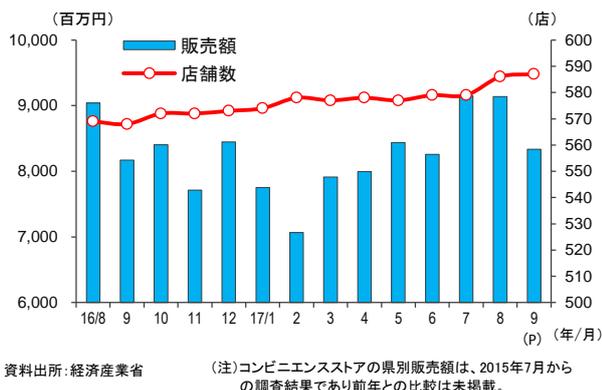
コンビニ、ドラッグストア前年比プラス

9月のコンビニエンスストア販売額(全店ベース)は、前年同月比2.0%増の83億3,600万円となった。店舗数は同3.3%増の587店となった。

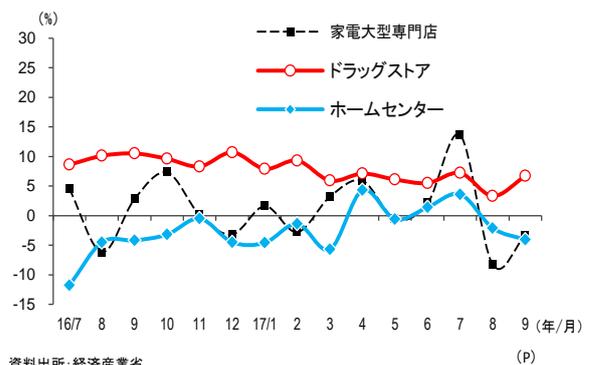
その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)をみると、家電大型専門店が同3.4%減、ドラッグストアが同6.7%増、ホームセンターが同4.1%減となった。家電大型専門店は1~2カ月ごとに増減がみられるが、当月は幾分持ち直したものの2カ月連続のマイナスとなった。ドラッグストアは、増加率が減少傾向を示しているが、今月はやや盛り返した。ホームセンターは、2カ月連続でマイナスとなった。当月は、業態ごとにバラツキがみられた。

(注) 本項はすべて速報値である。

● コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



● その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



三次産業

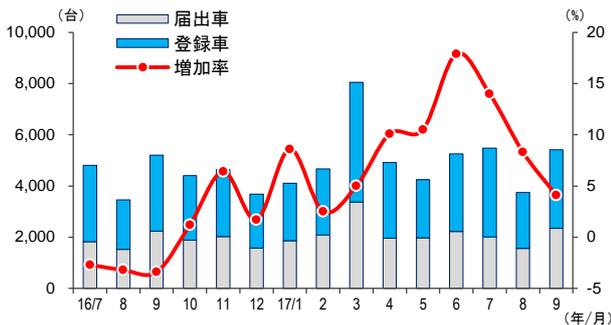
自動車販売

販売台数 12 カ月連続のプラス

9月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)ともに増加し、合計で前年同月比4.1%増の5,421台と12カ月連続のプラスとなった。

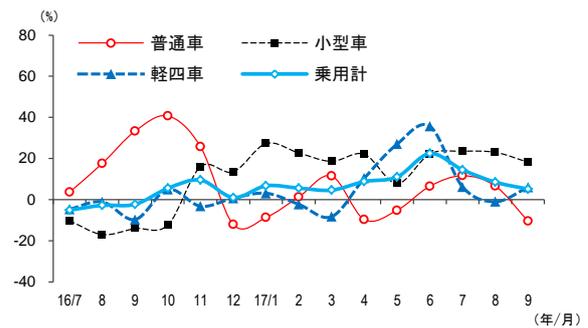
内訳別にみると、登録車は、普通乗用車が同10.5%減、小型乗用車が同18.2%増、貨物車が同1.3%減となり、登録車合計では同3.6%増の3,079台と13カ月連続のプラスとなった。届出車は、乗用車が同6.0%増、貨物車が同0.9%増となり、届出車合計では同4.8%増の2,342台と6カ月連続のプラスとなった。乗用車の登録・届出車合計販売台数は同5.1%増の4,356台と12カ月連続のプラスとなった。

自動車販売動向



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

乗用車販売動向(増加率)



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

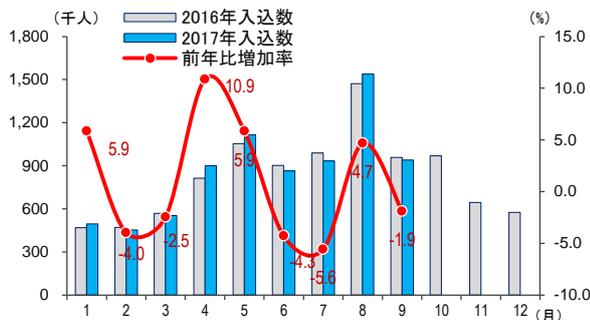
観光動向

入込数再びマイナス、宿泊者数2カ月連続プラス

9月の県内の観光動向は、県内34施設の入込数が前年同月比1.9%減の93万9,294人と再びマイナスとなった。施設別入込数は、八甲田丸が同18.9%減の7,713人、太宰治記念館「斜陽館」が同15.4%減の8,112人、弘前市立観光館が同15.3%減の5万890人、むつ下北観光物産館が同6.4%減の5,368人、浅虫水族館が同5.7%減の2万3,954人、八食センターが同3.5%減の22万521人とそれぞれ減少した。一方、石ヶ戸休憩所は同7.2%増の4万5,317人、白神山地ビジターセンターは同3.8%増の6,355人とそれぞれ増加した。

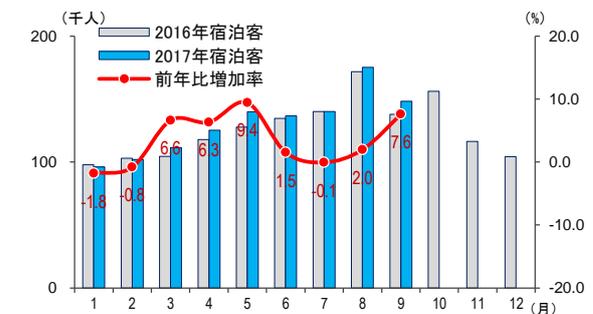
県内53施設(青森市、弘前市、八戸市、むつ市)の宿泊者数は、前年同月比7.6%増の14万8,289人と2カ月連続のプラスとなった。宿泊者数は、4市すべてで増加し、むつ市(6施設)が同17.9%増の1万4,724人、弘前市(17施設)が同10.5%増の5万2,723人、八戸市(18施設)が同7.6%増の4万5,181人、青森市(12施設)が同0.1%増の3万5,661人とそれぞれ増加した。

県内34施設入込数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

県内53施設宿泊者数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

物価・雇用・金融

消費者物価指数

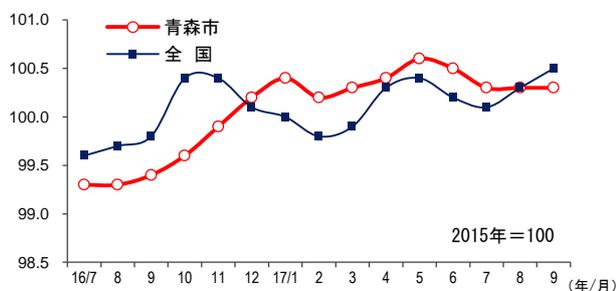
前月比横ばい、被服及び履物上昇、教養娯楽下落

9月の青森市の消費者物価指数(2015年=100)は前月比横ばい、前年同月比0.9%上昇の100.3となった。主要費目別に前月と比べると、「被服及び履物」がシャツ・セーター類などの上昇により3.1%、「家具・家事用品」が室内装備品などの上昇により1.1%、「保健医療」が医薬品・健康保持用摂取品の上昇により0.4%、それぞれ上昇した。一方、「教養娯楽」が教養娯楽用耐久財などの低下により0.7%、「交通・通信」が交通などの下落により0.6%、「光熱・水道」が灯油等の下落により0.2%、「食料」が生鮮果物などの下落により0.1%、それぞれ下落した。

前年同月比では、「光熱・水道」が灯油等の上昇により6.9%、「教養娯楽」が書籍・他の印刷物の上昇などにより1.8%、それぞれ上昇した。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は100.8となり、前月比では0.1%の下落、前年同月比では1.5%上昇した。

● 消費者物価指数



資料出所: 県統計分析課

● 費目別指数の動き (2017年9月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	100.3	0.0	0.9
食料	102.0	△ 0.1	△ 0.1
住居	99.9	0.0	△ 0.6
光熱・水道	96.7	△ 0.2	6.9
家具・家事用品	99.1	1.1	1.3
被服及び履物	101.0	3.1	△ 1.3
保健医療	102.4	0.4	1.5
交通・通信	96.8	△ 0.6	0.6
教育	102.5	0.0	0.5
教養娯楽	103.8	△ 0.7	1.8
諸雑費	101.8	0.2	0.6

資料出所: 県統計分析課

雇用動向

有効求人倍率 1.24 倍、先月に比べやや低下

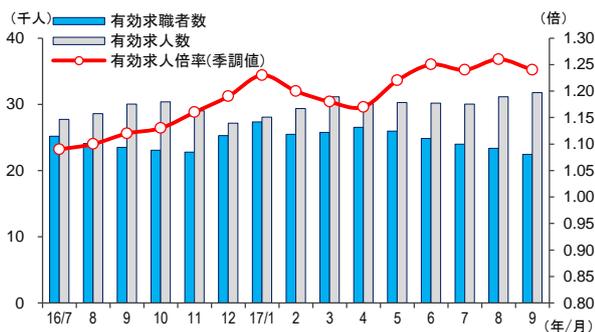
9月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比5.7%増の3万1,766人、有効求職者数は同4.6%減の2万2,442人となった。有効求人倍率は、前月比0.02ポイント低下の1.24倍となった。

新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比13.4%増、臨時・季節求人数が同15.0%減、パート求人数が同0.7%減となり、全数では同5.1%増の1万2,081人と29カ月連続で増加した。

主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、製造業、運輸業、郵便業、卸売・小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業などで増加した一方、建設業、情報通信業、生活関連サービス業、娯楽業、複合サービス事業などで減少した。

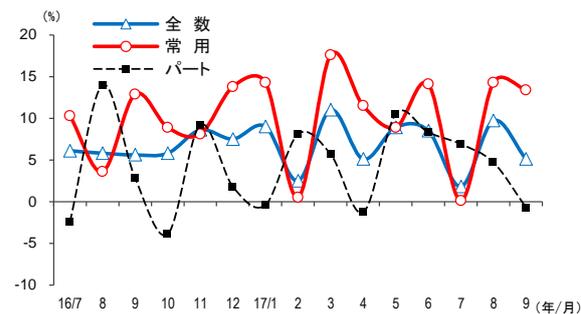
県内の雇用状況は、当月の有効求人倍率が、先月を0.02ポイント低下したものの、1963年の集計開始以来、3番目に高い数値であり、また1倍台は21カ月連続となるなど高水準が継続している。

● 有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

● 新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

物価・雇用・金融

企業倒産

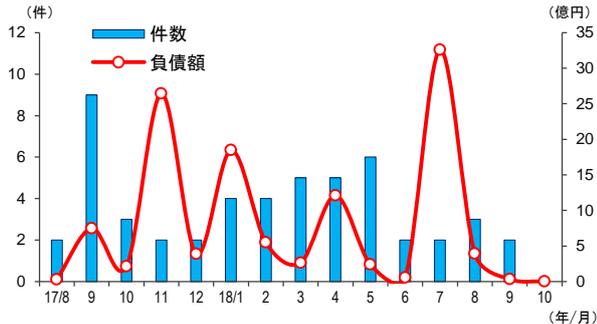
月間倒産発生ゼロ

10月は、県内企業倒産の発生がなかった。件数が前年同月比3件減、負債総額は同2億1,300万円減となった。前月比では件数が2件減、負債総額は3,500万円減となった。

県内の企業倒産は、件数が、2014年5月以降、先月まで41カ月連続で1桁台となり小康状態が続くなか、1972年の倒産集計開始以来はじめて、企業倒産ゼロを記録した。

単月での従業員被害者はおらず、1月からの累計は先月から変動がなく341人のままである。

● 企業倒産状況



資料出所: 東京商工リサーチ

(注) 負債総額1千万円以上

● 業種別・原因別件数 (2017年10月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業		過小資本	
製造業		他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	
小売業		信用低下	
金融・保険業		販売不振	
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他		その他	
合計	0	合計	0

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

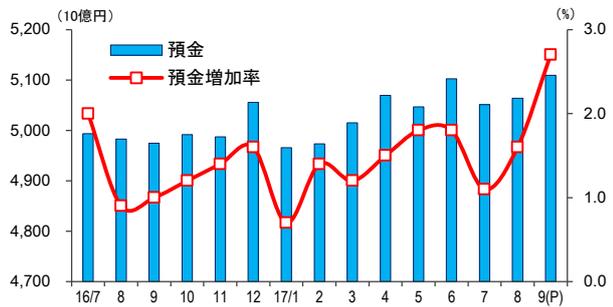
金融動向

預金、貸出金とも53カ月連続のプラス

9月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比2.7%増の5兆1,096億円、貸出金は同4.6%増の3兆410億円とそれぞれ増加した。

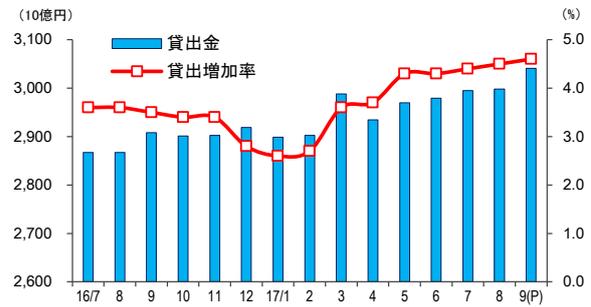
預金は法人預金、個人預金が増加し前年を上回った。預金全体のプラス幅は前月比1.1ポイント上昇し53ヶ月連続のプラスとなった。

一方、貸出金は住宅ローン、法人、地公体向けが、いずれも増加し前年を上回った。貸出金全体のプラス幅は前月比0.1ポイント上昇し、53ヶ月連続のプラスとなった。



資料出所: 日本銀行青森支店

(P) は速報値



資料出所: 日本銀行青森支店

(P) は速報値

国内景気

概況

—国内景気は、緩やかな回復基調が続いている—
個人消費は、緩やかに持ち直している。設備投資は持ち直している。住宅建設は横ばいとなっている。公共投資は堅調に推移している。輸出は持ち直している。生産は持ち直している。企業収益は改善している。企業の業況判断は、改善している。雇用情勢は改善している。消費者物価は横ばいとなっている。

百貨店・スーパーの動向(既存店ベース)

—前年同月比 1.9%増、2 カ月連続のプラス—
9月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 1.9%増と 2 カ月連続のプラスとなった。業態別にみると、百貨店が同 4.2%増、スーパーが同 0.8%増となった。商品別にみると、衣料品が同 2.2%増、飲食料品が同 0.4%増、その他商品が同 5.9%増となった。

住宅建設

—前年同月比 2.9%減、3 カ月連続のマイナス—
9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 2.9%減の 8 万 3,128 戸と 3 カ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、持家が同 2.7%減と 4 カ月連続の減少、貸家が同 2.3%減と 4 カ月連続の減少、分譲住宅が同 5.3%減と 4 カ月ぶりの減少となった。

企業倒産

—倒産件数、負債総額とも増加—
9月の企業倒産は、件数が前年同月比 4.6%増の 679 件、負債総額は同 36.1%増の 1,158 億 200 万円となった。倒産件数は、9 月としては 3 年ぶりに前年を上回った。負債総額は、3 カ月ぶりに前年を上回ったものの、負債額 1 億円未満が 504 件と全体の 74.2%を占め、依然として小規模企業の倒産が主流であることに変わりがない。このほか 3 カ月ぶりに上場企業倒産が発生した。

為替動向

—10 月末終値 113 円 08 銭—
10 月の東京外国為替市場は前月末から続落、112.98 円でスタート。上旬は、113 円を挟んだ狭いレンジで推移した。中旬は、米国長期金利の低下を受け、日米金利差の縮小を見込んだ円買いが先行、112 円台まで円高が進行。下旬は、一転世界的な株高や米国金利の上昇気配から、円を売る動きが進み 114 円台まで円安が進行した。月末終値は、113 円 08 銭。

鉱工業生産指数

—前月比 1.1%低下の 102.4—
9月の鉱工業生産指数は前月比 1.1%低下の 102.4(季節調整値)となった。電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械、金属製品などが低下した。一方、化学(除、医薬品)、石油・石炭製品、非鉄金属などが上昇した。10 月は、はん用・生産用・業務用機械、電気機械、電子部品・デバイスなどの上昇により前月比 4.7%上昇を予測している。

新車販売(除く軽自動車)

—前年同月比 0.4%増、2 カ月連続のプラス—
9月の国内新車販売は前年同月比 0.4%増の 31 万 8,175 台と 2 カ月連続のプラスとなった。乗用車が同 2.3%増、貨物車が同 10.2%減となった。乗用車は普通乗用車が同 1.8%減と 3 カ月連続のマイナス、小型乗用車は同 7.6%増と 2 カ月連続のプラスとなった。

完全失業率

—前月比横ばいの 2.8%—
9月の完全失業率は、前月比横ばいの 2.8%となった。完全失業者数は前年同月比 14 万人減の 190 万人となり、88 カ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比 2 万人減の 31 万人、自己都合が同横ばいの 88 万人などとなった。

消費者物価指数

—前年同月比 0.7%上昇の 100.5—
9月の全国消費者物価指数は前年同月比 0.7%上昇、前月比(季節調整値)横ばいの 100.5 となった。前年同月に比べ、電気代、ガス代、自動車等関係費(ガソリンなど)、保健医療サービス(診療代など)、他の光熱(灯油)、生鮮魚介(さんま)、酒類(ビール)などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比 0.7%上昇、前月比(季節調整値)横ばいの 100.3 となった。

国際収支

—経常収支、39 カ月連続で黒字—
9月の経常収支額は、前年同月比 4,069 億円増(21.8%増)の 2 兆 2,712 億円と 39 カ月連続で黒字が継続している。黒字幅の拡大は、第一次所得収支が黒字幅を拡大したこと等に起因する。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が 7,764 億円の黒字、第一次所得収支が 1 兆 7,025 億円の黒字、第二次所得収支が 2,077 億円の赤字となった。

県内・国内トピックス 10月

県内

2日 「津軽海峡マグロ女子会」に観光庁長官表彰

本県とみなみ北海道の女性でつくる「津軽海峡マグロ女子会」が、魅力ある観光地づくりやその魅力の発信など、観光の振興、発展に貢献したとして、国内外の2団体、1個人とともに、「第9回観光庁長官表彰」を受賞した。

4日 「津軽ダム」、2017年度グッドデザイン賞受賞

日本デザイン振興会によると、2017年度のグッドデザイン賞に、県内から西目屋村の「津軽ダム」など5件を選定した。同ダムは、白神の自然と人が出会う新しい風景づくりを基本理念に、来訪者にとって楽しく親しみやすい場所を創出したことが評価された。

10日 県内5町村の新・ご当地グルメ、累計販売30万食達成

県内5町村で提供する新・ご当地グルメの「深浦マグロステーキ丼」、「平内ホタテ活御膳」、「中泊メバルの刺身と煮付け膳」、「田子ガーリックステーキごはん」、「東通天然ヒラメ刺身重」の累計販売数が30万食を達成した。

県2018年度予算成方針、「重点枠事業費」34億円に拡大

県が各部局に通知した、2018年度当初予算の編成方針によると、最終年度を迎える「県基本計画未来を変える挑戦」の総仕上げに向け、重点施策である「人口減少克服」「健康長寿」「食」の戦略プロジェクトに、前年度比4億円増の34億円を確保する。

47都道府県魅力度ランキング、前年と同じ17位

民間シンクタンク(株)ブランド総合研究所が発表した2017年の47都道府県魅力度ランキングによると、本県は前年同様の17位だった。また、同時に発表された100市区町村別ランキングでは、十和田市が58位、弘前市が81位にランクインした。

13日 2017年産米相対取引価格、「まっしぐら」1万4,249円

農林水産省の発表によると、2017年産「まっしぐら」の9月の相対取引価格が前年比9.7%上昇し、60㌔あたり1万4,249円となった。「つがるロマン」は、9月の取引量が少なく未公表。

国内

10日 街角景気、3カ月ぶり改善

内閣府が発表した9月の景気ウォッチャー調査によると、景気の現況を示す現状判断指数は、前月比1.6ポイント上昇の51.3と3カ月ぶりに改善し基調判断を「着実に持ち直している」とした。

12日 企業物価指数、前年同月比3.0%上昇

日本銀行によると、出荷や卸売段階で取引される製品価格である企業物価指数(9月、速報)は、前年同月比3.0%上昇の99.0となった。原油など資源価格の上昇のほか、消費者に近い農林水産物など最終財も上昇した。

18日 7~9月期訪日外国人消費額、前年同期比26.7%増

日本政府観光局によると、2017年7~9月期の訪日外国人消費額は1兆2,305億円と推計され、前年同期比26.7%増加した。国・地域別では、中国(構成比44.1%)、台湾(同12.1%)、韓国(同11.1%)、香港(同7.6%)、米国(同5.0%)などの順となった。

19日 4~9月期、貿易黒字額1兆9,190億円

財務省が発表した2017年度上半期の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、前年同期比20.3%減の1兆9,190億円となった。国・地域別では、対米貿易収支は3兆3,838億円の黒字、対中国は1兆5,387億円の赤字となった。

23日 日経平均、史上初の15営業日続伸

日経平均株価が戦後最長の15日連騰を記録した。25日には反落し連騰は16営業日で終了した。

25日 10月の月例経済報告、基調判断5カ月据え置き

内閣府は10月の月例経済報告で、景気の基調判断を「緩やかな回復基調が続いている」と、5カ月連続での据え置きとした。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定平均金利 (年利%)	景気動向指数(一致) 2010年=100	国内企業物価指数 2015年=100	消費者物価指数 2015年=100	鉱工業生産指数 2010年=100	機械受注(季調済) (億円)	公共工事請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2012 (H24)	809,455	613,690	433,823	1.364	-	98.0	96.2	97.8	88,134	128,456
2013 (H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	-	99.2	96.6	97.0	93,232	150,536
2014 (H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	-	102.4	99.2	99.0	96,920	165,257
2015 (H27)	908,485	679,106	475,937	1.110	-	100.0	100.0	97.8	100,891	149,257
2016 (H28)	961,251	734,342	491,573	0.998	-	96.5	99.9	97.7	102,600	154,200
2016 (H28) 7	960,075	711,968	478,318	1.033	111.4	96.3	99.6	97.0	8,932	12,706
8	962,598	713,266	478,897	1.026	111.6	96.0	99.7	98.3	8,406	13,674
9	961,605	718,064	483,362	1.016	111.9	96.1	99.8	98.6	8,432	21,528
10	964,126	720,207	482,275	1.014	112.9	96.1	100.4	98.9	8,721	11,628
11	968,657	728,632	485,636	1.009	114.6	96.4	100.4	99.9	8,478	9,172
12	998,207	734,342	491,573	0.998	114.5	97.1	100.1	100.6	8,660	13,527
2017 (H29) 1	1,000,204	734,157	490,302	0.996	113.3	97.7	100.0	98.5	8,379	7,837
2	987,652	735,389	490,872	0.992	115.0	98.0	99.8	101.7	8,505	11,608
3	994,636	748,497	496,374	0.982	114.4	98.2	99.9	99.8	8,623	24,568
4	996,652	753,144	493,836	0.982	116.7	98.4	100.3	103.8	8,359	8,202
5	999,953	753,164	493,993	0.976	115.8	98.4	100.4	100.1	8,055	10,000
6	995,829	750,914	495,736	0.969	116.8	98.5	100.2	102.3	7,900	14,660
7	1,003,958	753,838	496,157	0.965	115.7	98.8	100.1	101.5	8,533	13,713
8	1,007,793	754,563	495,975	0.962	117.7	98.8	100.3	103.5	8,824	13,655
9	1,005,588				P 115.8	P 99.0	100.5	P 102.4	8,105	15,155
前月比%	-0.2	0.1	-0.0	-0.003*イント	-1.9ポイント	0.2	0.0	-1.1	-8.1	11.0
前年同月比%	4.6	5.8	3.6	-0.064*イント	-	3.0	0.7	2.5	-3.5	-29.6
資料出所	日本銀行			内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省	

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※消費者物価指数の前月比は季節調整値による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原系列による

年次及び月	新設住宅着工戸数 (戸)	新車登録届出台数 (乗用車) (千台)	百貨店・スーパー販売額 (億円)	企業倒産		完全失業率 (季調済) (%)	国際収支(経常) (億円)	東京外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	日経商品指数 (月末42種) (70年=100)
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2012 (H24)	882,797	4,572	195,916	12,124	38,346	4.3	47,640	79.79	10,395.18	169.679
2013 (H25)	980,025	4,562	197,774	10,855	27,823	4.0	44,566	97.71	16,291.31	188.334
2014 (H26)	892,261	4,699	201,973	9,731	18,741	3.6	39,215	105.79	17,450.77	183.036
2015 (H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	162,351	121.09	19,033.71	160.852
2016 (H28)	967,705	4,146	195,948	8,446	20,061	3.1	203,421	108.77	19,114.37	168.833
2016 (H28) 7	85,208	348	17,214	712	1,240	3.0	19,396	103.90	16,569.27	157.572
8	82,242	279	15,545	726	1,260	3.1	19,704	101.27	16,887.40	156.636
9	85,622	397	14,710	649	851	3.0	18,643	102.04	16,449.84	156.713
10	87,707	315	15,970	683	1,112	3.0	15,466	103.82	17,425.02	158.586
11	85,051	342	16,479	693	5,945	3.1	14,267	108.18	18,308.48	164.413
12	78,406	333	20,676	710	1,717	3.1	11,143	115.95	19,114.37	168.833
2017 (H29) 1	76,491	343	16,743	605	1,285	3.0	952	114.73	19,041.34	171.743
2	70,912	413	14,493	688	1,158	2.8	28,940	113.06	19,118.99	172.284
3	75,887	584	16,312	786	1,668	2.8	29,805	113.01	18,909.26	173.696
4	83,979	297	15,583	680	1,041	2.8	19,557	110.06	19,196.74	171.609
5	78,481	312	15,881	802	1,069	3.1	16,776	112.21	19,650.57	172.234
6	87,456	396	15,694	706	15,883	2.8	9,288	110.91	20,033.43	172.118
7	83,234	357	17,179	714	1,099	2.8	P 23,200	112.44	19,925.18	174.141
8	80,562	291	15,655	639	924	2.8	P 23,804	109.91	19,646.24	176.718
9	83,128	418	P 14,968	679	1,158	2.8	P 22,712	110.68	20,356.28	179.875
前月比%	3.2	43.7	0.1	6.3	25.4	0.0*イント	-	0.7	3.6	1.8
前年同月比%	-2.9	5.3	1.9	4.6	36.1	-0.2*イント	21.8	8.5	23.7	14.8
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ	総務省	財務省	日本銀行	日経新聞社		

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行(-) 還収 超額(億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額		企業倒産	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		(百万円)	うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	1,287	47,633	26,780	104.7	208,618	55,074	57	52,781
2013 (H25)	1,347,650	-5,924	1,762	48,252	27,298	106.4	197,238	60,716	53	11,199
2014 (H26)	1,333,729	-6,269	1,957	49,114	27,890	106.9	169,394	58,023	66	9,485
2015 (H27)	1,319,297	-6,205	2,749	49,540	28,849	107.8	151,727	58,460	52	6,894
2016 (H28)	1,305,721	-5,853	2,929	50,154	29,878	110.3	177,083	65,673	49	12,227
2016 (H28) 7	1,295,463	-100	202	49,937	28,673	113.5	18,765	8,366	2	22
8	1,294,831	19	214	49,828	28,672	107.4	12,774	5,252	2	30
9	1,294,209	66	198	49,747	29,081	110.4	23,679	10,917	9	748
10	1,293,681	126	328	49,914	29,015	109.8	13,180	5,240	3	213
11	1,293,130	-116	287	49,871	29,026	119.8	7,077	2,421	2	2,643
12	1,292,212	-187	689	50,553	29,188	112.7	4,763	960	2	389
2017 (H29) 1	1,291,206	-83	-159	49,660	28,985	112.8	6,617	1,555	4	1,847
2	1,290,008	-360	201	49,733	29,025	110.5	9,291	2,262	4	551
3	1,288,791	-5,346	220	50,154	29,878	102.4	11,732	3,709	5	264
4	1,282,545	394	337	50,692	29,346	116.4	33,370	19,622	5	1,209
5	1,282,136	77	92	50,470	29,698	111.2	16,443	3,824	6	239
6	1,281,461	-136	349	51,021	29,790	112.3	18,847	7,687	2	55
7	1,280,651	-150	221	50,510	29,952	109.3	19,439	5,894	2	3,260
8	1,279,829	-90	236	50,638	29,979	P 113.3	16,318	4,680	3	392
9	1,278,997	149	163	P 51,096	P 30,410		20,651	12,264	2	35
10	1,278,581		448						0	0
前月比 %	-0.0	-	-	0.9	1.4	3.7	26.6	162.1	-100.0	-100.0
前年同月比%	-1.2	-	-	2.7	4.6	5.6	-12.8	12.3	-100.0	-100.0
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		県統計分析課	東日本建設業保証		東京商工リサーチ		

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数

※日銀券の年次計数は年度累計

※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による

※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※企業倒産は負債額1千万円以上

年次及び月	新車 登録台数 (台)	乗用車登 録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2012 (H24)	33,496	49,397	5,578	3,286	1,844	582	96.2	274,133	253,142	155.0
2013 (H25)	31,442	49,982	6,461	4,193	1,958	632	96.5	267,928	257,302	154.4
2014 (H26)	31,736	52,046	5,469	3,387	1,721	575	99.8	259,815	254,237	155.1
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	586	100.0	255,240	251,066	154.6
2016 (H28)	31,217	43,396	6,494	3,597	2,256	651	99.5	265,004	252,236	152.5
2016 (H28) 7	2,992	3,848	687	381	281	69	99.3	229,876	257,122	155.7
8	1,939	2,690	543	363	155	58	99.3	260,830	229,871	148.4
9	2,972	4,146	664	376	241	66	99.4	237,847	215,324	151.5
10	2,525	3,465	730	347	334	70	99.6	282,665	216,521	154.1
11	2,620	3,549	617	333	225	60	99.9	320,791	230,649	155.2
12	2,119	2,773	534	247	203	49	100.2	319,561	431,088	155.5
2017 (H29) 1	2,241	3,294	354	124	208	29	100.4	291,220	227,354	144.2
2	2,591	3,818	225	133	62	22	100.2	275,709	220,920	151.7
3	4,683	6,332	445	255	147	44	100.3	314,577	230,618	157.0
4	2,952	3,958	636	413	156	71	100.4	296,396	227,689	157.5
5	2,267	3,390	559	363	163	59	100.6	234,487	224,120	149.4
6	3,031	4,251	594	387	178	65	100.5	269,218	359,373	159.9
7	3,468	4,406	729	403	283	72	100.3	241,612	275,063	159.4
8	2,184	2,918	492	321	134	53	100.3	244,457	245,172	152.0
9	3,079	4,356	694	389	269	68	100.3	231,760		
前月比 %	41.0	49.3	41.1	21.2	100.7	29.0	0.0	-5.2	-10.9	-4.7
前年同月比%	3.6	5.1	4.5	3.5	11.6	3.5	0.9	-2.6	6.8	2.4
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニエンスストア販売額 (百万円)	家電大型専門 店販売額 (百万円)	ドラッグストア 販売額 (百万円)	ホームセンター販 売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚高)	
						出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)
2012 (H24)	181,246	-	-	-	-	274,892	263	164	112,395	18,670
2013 (H25)	179,920	-	-	-	-	255,696	317	191	97,591	19,672
2014 (H26)	177,668	-	28,532	40,073	54,090	296,117	319	180	120,530	22,969
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2016 (H28)	168,443	94,851	26,540	47,970	51,990	294,359	391	190	99,312	23,436
2016 (H28) 7	14,132	8,542	2,534	4,175	4,592	10,282	417	-	3,523	1,350
8	15,068	9,040	2,358	4,422	4,664	2,639	458	-	7,034	2,815
9	12,546	8,171	1,995	3,962	3,951	22,433	278	190	14,199	3,030
10	13,758	8,406	2,136	4,120	4,351	26,137	325	245	25,531	4,668
11	13,499	7,716	2,028	3,990	4,501	23,073	339	251	26,979	3,961
12	17,777	8,446	2,821	4,360	5,180	29,154	371	199	8,037	3,175
2017 (H29) 1	13,996	7,751	2,658	4,131	3,542	31,405	322	180	949	505
2	12,425	7,069	1,815	3,823	2,853	31,814	289	159	1,181	581
3	14,352	7,912	2,644	3,905	3,630	36,359	265	136	1,689	900
4	13,445	7,996	1,936	4,143	5,066	34,152	258	190	601	278
5	13,761	8,438	1,904	4,215	5,162	25,368	286	-	880	224
6	13,345	8,259	1,917	4,316	4,308	17,792	325	-	1,598	554
7	14,387	9,146	2,879	4,474	4,756	12,665	373	-	7,857	2,423
8	15,245	9,139	2,162	4,570	4,567	3,334	391	-	6,266	2,490
9	P 12,837	P 8,336	P 1,928	P 4,226	P 3,789	21,473	259	178	14,135	2,999
前月比 %	-	-8.8	-10.8	-7.5	-17.0	544.1	-33.8	-	125.6	20.4
前年同月比 %	1.6	2.0	-3.4	6.7	-4.1	-4.3	-6.8	-6.3	-0.5	-1.0
資料出所	経済産業省				県りんご果樹課			八戸市水産事務所		

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断 DI)	おおぎん BSI	
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)			
2012 (H24)	0.64	0.96	-	13,070	6,785	29,059	107,146	122,288	-	-	
2013 (H25)	0.78	1.14	-	12,291	7,651	35,866	122,070	141,664	-	-	
2014 (H26)	0.81	1.16	-	11,408	7,733	34,824	132,609	177,830	-	-	
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-	
2016 (H28)	1.14	1.60	-	9,586	4,577	14,834	125,646	147,564	-	-	
2016 (H28) 7	1.09	1.53	6,591	711	291	757	10,006	14,707	48.3	-4.8	
8	1.10	1.49	7,441	854	475	1,475	10,052	9,881	-		
9	1.12	1.51	6,143	696	386	1,042	5,155	11,444	-		
10	1.13	1.56	5,554	587	291	513	13,673	27,315	43.2	10.8	
11	1.16	1.63	5,463	616	442	1,591	8,293	11,189	-		
12	1.19	1.65	5,878	657	367	2,265	12,430	12,878	-		
2017 (H29) 1	1.23	1.70	9,561	1,472	424	2,665	12,016	12,750	47.3	-8.6	
2	1.20	1.55	6,856	856	691	3,233	9,577	8,038	-		
3	1.18	1.63	6,174	789	386	1,279	12,664	18,953	-		
4	1.17	1.59	5,523	647	381	2,179	8,674	11,439	51.0	0.8	
5	1.22	1.72	6,608	818	208	1,287	11,908	12,484	-		
6	1.25	1.74	6,260	732	1,009	1,986	10,133	9,331	-		
7	1.24	1.59	6,218	670	336	0	10,752	17,138	50.8	-1.6	
8	1.26	1.73	6,992	866	475	1,300	13,371	12,754	-		
9	1.24	1.71	5,693	613	368	581	5,374	12,680	-		
前月比 %	-0.02ポイント	-0.02ポイント	-18.6	-29.3	-22.5	-55.3	-59.8	-0.6	-0.2ポイント	-2.4ポイント	
前年同月比 %	0.12ポイント	0.20ポイント	-7.3	-12.0	-4.8	-44.3	4.3	10.8	-	-	
資料出所	青森労働局				函館税関、青森支署・八戸支署			県統計分析課		青森銀行	

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設入 込客数(人)	宿泊者数 (人)	青森空港乗 降客数 (定期便) (人)	バスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI			
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (18施設)	青森	津軽	県南	
2012 (H24)	10,852,850	1,248,715	819,941	18,765	322,945	334,981	496,548	-	-	-	
2013 (H25)	10,408,710	1,616,712	848,951	14,968	402,275	483,615	505,059	-	-	-	
2014 (H26)	9,878,186	1,498,169	903,389	13,560	374,463	487,827	505,045	-	-	-	
2015 (H27)	9,987,354	1,497,981	981,175	13,301	373,938	518,399	462,499	-	-	-	
2016 (H28)	9,891,582	1,518,642	1,061,995	14,904	378,634	535,657	474,738	-	-	-	
2016 (H28)	7	988,832	140,092	98,750	1,152	34,090	48,287	42,935	-10.6	4.8	-6.3
	8	1,471,223	171,831	112,073	2,023	44,735	63,837	48,865			
	9	957,213	137,835	101,989	1,161	35,624	47,723	41,995			
2016 (H28)	10	969,341	156,238	103,494	1,113	41,564	54,909	45,442	1.2	33.3	3.7
	11	643,604	116,288	89,895	1,085	26,606	41,028	38,926			
	12	574,904	104,317	73,795	1,238	24,649	35,342	35,341			
2017 (H29)	1	495,775	96,137	69,552	1,438	26,442	31,206	29,804	-8.0	-10.8	-7.4
	2	452,980	102,123	68,725	1,124	25,345	36,677	30,724			
	3	553,884	111,481	86,184	1,354	25,650	38,804	36,881			
2017 (H29)	4	901,247	125,243	84,282	1,158	29,065	47,835	38,215	4.6	4.4	-5.8
	5	1,115,685	139,792	107,049	1,181	33,070	51,590	41,345			
	6	863,641	136,611	106,806	1,263	31,857	48,616	42,623			
2017 (H29)	7	933,702	140,006	102,081	1,353	32,639	48,018	44,068	0.0	-8.5	2.4
	8	1,539,954	175,190	119,154	1,705	44,710	63,656	51,372			
	9	939,294	148,289	104,595	1,213	35,661	52,723	45,181			
前月(期)比%	-39.0	-15.4	-12.2	-28.9	-20.2	-17.2	-12.1	-4.6ホ ⁺ イント	-12.9ホ ⁺ イント	8.2ホ ⁺ イント	
前年同月(期)比%	-1.9	7.6	2.6	4.5	0.1	10.5	7.6	-	-	-	
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県統計分析課	県観光企画課			青森銀行			

※観光施設入込客数は県内34施設合計、宿泊者数は青森市、弘前市、八戸市、むつ市53施設(2016.7以降)合計

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)			
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	
2012 (H24)	297,618	182,487	236,434	8,346	3,917	7,221	1,260	868	1,440	
2013 (H25)	295,145	181,057	235,585	7,740	3,612	6,467	1,665	822	1,457	
2014 (H26)	292,769	179,582	233,951	7,669	3,704	6,564	1,445	761	1,197	
2015 (H27)	290,251	178,098	232,634	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395	
2016 (H28)	287,160	177,383	231,098	7,829	3,578	6,411	1,761	1,084	1,463	
2016 (H28)	8	284,978	176,154	229,805	461	227	431	116	74	145
	9	284,936	176,025	229,661	693	340	621	157	85	159
	10	284,754	175,900	229,527	571	313	565	275	100	109
2016 (H28)	11	284,649	175,942	229,466	561	321	580	146	109	133
	12	284,441	175,843	229,361	626	260	400	148	112	119
	2017 (H29)	1	284,257	175,777	229,287	526	266	483	59	53
2017 (H29)	2	283,948	175,672	229,190	607	311	512	74	20	78
	3	283,671	175,440	229,131	1,217	635	855	105	84	132
	4	281,920	174,190	228,168	691	341	692	184	88	138
2017 (H29)	5	282,743	174,701	228,100	562	286	470	173	78	112
	6	282,704	174,630	228,021	737	409	618	153	103	147
	7	282,519	174,507	227,987	936	366	849	198	126	150
2017 (H29)	8	282,324	174,366	227,965	494	267	473	122	89	108
	9	282,207	174,310	227,796	723	399	635	229	83	146
	10	282,032	174,287	227,778						
前月(期)比%	-0.1	-0.0	-0.0	46.4#	49.4	34.2	87.7	-6.7	35.2	
前年同月(期)比%	-1.0	-0.9	-0.8	4.3#	17.4	2.3	45.9	-2.4	-8.2	
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課			